

ご挨拶

『彦根混声合唱団コンサート2019』にご来場いただきまして誠にありがとうございます。1957年の発足以来、活動を続けて来られましたのも皆様の変わらぬご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

2年前の演奏会以後も「小さくてもキラリと光る合唱団」を目指すことには変わりはなく、小所帯ながらも歌う者にも聴いていただく方にも楽しめる合唱曲を演奏してまいりました。昨年は、滋賀県合唱祭で栄えある合唱祭賞を受賞し大変有意義な年となりました。その名に恥じない演奏を続けられるよう、今日に向け積み重ねた練習の成果を見守っていただければ幸いです。

さて、今回賛助出演していただきます『陵水男声合唱団』は滋賀大学グリークラブの卒業生で結成された伝統と実績のある合唱団です。きっと男声合唱の魅力をご披露いただけるでしょう。

そして私達『彦根混声』も混声合唱の魅力を発信すべく頑張ります。

最後に、このコンサートにお力添えをいただいた多く皆様、そして辛抱強く繰り返しご指導いただいた先生方に心よりお礼申し上げます。

彦根混声コンサート2019 実行委員会 委員長 森田 正

program

オープニング

「楽譜を開けば野原に風が吹く」

和合亮一 作詞／信長貴富 作曲

気持ちを奮い立たせ爽やかな風を感じさせるこの曲を歌い、昨年の滋賀県合唱祭で合唱祭賞を受賞しました。「さあ、楽譜を開いてコンサートを始めましょう！！」

第1部 九ちゃんが歌ったうた 上を向いて歩こう

横山潤子 編曲

1960年代、子どもたちはテレビの前で軽やかに歌う九ちゃんの「上を向いて歩こう」を真似して歌ったものでした。今回演奏する5曲は、どの曲も現在まで歌い継がれている名曲です。横山潤子さんの繊細で軽快な編曲は歌う者の意欲をかき立てます。

上を向いて歩こう ……永 六輔 作詞／中村八大 作曲

明日があるさ ……青島幸男 作詞／中村八大 作曲

ともだち ……永 六輔 作詞／いずみたく 作曲

見上げてごらん夜の星を ……永 六輔 作詞／いずみたく 作曲

心の瞳 ……荒木とよひさ 作詞／三木たかし 作曲

第2部 相澤直人 ア・カペラ作品集

ぜんぶ ……さくらももこ 作詞／相澤直人 作曲

きもち ……さくらももこ 作詞／相澤直人 作曲

あいたくて ……工藤直子 作詞／相澤直人 作曲

また あいたくて ……工藤直子 作詞／相澤直人 作曲

アイスクリームのうた ……さとうよしみ 作詞／服部公一 作曲
相澤直人 編曲

相澤直人さんは次々と合唱曲を世に出され、また多くの合唱団で指導されています。その曲は洗練された音遣いとハーモニーで聴く人々の心を癒します。微妙なバランスを築く難しさと楽しさに引き込まれ、多くの合唱団が歌っているのも納得できます。相澤さんの作品とともに、良く知られた「アイスクリームのうた」をどのように編曲されたかもお聴き逃しなく。

第3部

男声合唱組曲 柳河風俗詩

北原白秋 作詞／多田武彦 作曲

I 柳河

II 紺屋のおろく

III かきつばた

IV 梅雨の晴れ間

有明海に面する水郷・柳河の裕福な造り酒屋に生まれた北原白秋は、19歳で上京。当時の詩壇を代表する一人へと成長していく。『柳河風俗詩』の4編は、明治44年26歳の年に故郷を懐かしみ刊行した詩集「思い出」に収められている。京都大学の男声合唱団に在籍し清水脩に師事した経験も持つ多田武彦は、昭和29年26歳の年に南国的な異香を含むこの詩集に出会い、この曲を作曲した。抒情性豊かな和声を駆使した多田武彦の幾多のアカペラ合唱曲は、全国の多くの合唱愛好家に歌い継がれている。

会場のみなさまと

琵琶湖周航の歌

小口太郎 作詩／吉田千秋 作曲
小佐野 美穂 編曲

第4部

混声合唱組曲 「北廻船」

阪田寛夫 作詞／大中 恩 作曲

1. 橋守

2. 古い壺

3. 海のそこの川

4. 雪の晴れ間



ご存じ大中恩・阪田寛夫のゴールデンコンビによる大作。雪に閉ざされた山々や海とその地の人々の思いを、降り積もった雪の重さや春への期待感を通して表しています。雪国の風土の機微を表現した阪田さんの詩に、爽やかなメロディーと心地よい響きをマッチさせた大中節。初演後35年を経ても瑞々しさは少しも失われていません。特に終曲「雪の晴れ間」は大曲で、今日のコンサートの掉尾を飾るにふさわしい曲といえます。

最後になりましたが、昨年12月に亡くなりました大中恩さんのご冥福をお祈り申し上げます。

賛助出演〈陵水男声合唱団〉のご紹介



指揮者 松下伸也

静岡県焼津市出身。中学時代より合唱の楽しさを学び静岡県立焼津中央高校で合唱部に所属する。愛知県立芸大、同大学院修了後合唱団指導を開始し、初期バロックから、ソリスト、オーケストラ付きの合唱曲、アカペラまで幅広いレパートリーを持つ。自身の声楽家としての経験を活かした指導で団員の評価も高く、名古屋芸大講師として専科合唱を五年間担当した他、現在では陵水男声合唱団、アンサンブル瑠璃、春日井市民第九合唱団、名古屋市立大学混声合唱団各指導者。愛知淑徳大学福祉貢献学部准教授、岐阜県立加納高校講師。声楽を福島明也、矢田部義弘、末吉利行の各氏に師事。

陵水男声合唱団出演者

トップテナー

浅野幹司郎 岩切直彦 角井正澄 鹿住 誠 岸田直明 杉谷哲夫 周藤 誠 竹内 彰 山内佳紀 山本喜久雄 湧川勝巳

セカンドテナー

一柳善郎 岡田次郎 加藤友明 小西利雄 大東真明 田中弘治 玉田真人 外山哲男 野村孝治郎 蜂須賀聡太 横山秀利

バリトン

上中健人 賀戸靖彦 川端 修 塩瀬和成 野々山徳雄 宮崎吉史 村上聖二 横山嘉久 米澤正治 脇田秀昭

ベース

宇津木正久 国立 徹 富田敏夫 斜木克彦 濃野 仁 野寺賢二 牧 伸夫 山村博一 山脇一泰

2001年6月 東海三県在住の滋賀大学経済学部OB有志により設立された合唱団で、名古屋を拠点に活動しています。滋賀大学の前身である彦根高商の創立記念式典や、同窓会である陵水会の名古屋・岐阜支部の総会で校歌、寮歌などを歌うほか、隔年で開催するホームコンサートで活動の成果を発表しています。2004年からは松下伸也氏の指導を受け、滋賀県高島市で開催されている「琵琶湖周航の歌」合唱コンクールに参加し、過去2回、銅賞を受賞しています。本日は、名古屋で活動している正団員に、関東、関西から駆けつけた25名を加え、滋賀大サウンドを心の故郷彦根に蘇らせたいと思っています。